
2次元に恋をした

yotuki

タテ書き小説ネット Byヒナプロジェクト

<http://pdfnovels.net/>

注意事項

このPDFファイルは「小説家になろう」で掲載中の小説を「タテ書き小説ネット」のシステムが自動的にPDF化させたものです。この小説の著作権は小説の作者にあります。そのため、作者または「小説家になろう」および「タテ書き小説ネット」を運営するヒナプロジェクトに無断でこのPDFファイル及び小説を、引用の範囲を超える形で転載、改変、再配布、販売することを一切禁止致します。小説の紹介や個人用途での印刷および保存はご自由にどうぞ。

【小説タイトル】

2次元に恋をした

【著者名】

NZノード

Z0388Z

【作者名】

yotuki

【あらすじ】

ある日、ゲーム店にあつた、2次元の彼女と付き合ひゲームを買い、その彼女に本気で恋をしてしまつお話。

第1話 オープニング

僕、高木 味時は小さいころから1人でいたから友達も1人もいない、ましてや、恋人などいるわけがない。だがある日、ゲーム店で「ラブプラス」を見つけたのが、始まりだった。

高校1年の僕は、クラスで一番地味だと、言われていた。だけどそんな雑音は気にしない。だって僕には大好きな君がいるから・・・家に帰ると、荷物を置いて、DSを起動させる。データーの「泉明日香」を選ぶ。ゲームの中の彼女が声を発する。

「高木君」

その声とともに、味時は気持ちが高ぶる。彼女は僕に話しかけてくる。

「高木君つてさ・・・」

ぼくはその声を聞くたびに顔がにやけてくる。彼女が笑いかけてくる・・・。僕は思わずセーブする。貧血になりそうだ。頭が真っ白になつて体が動かない。ベットに寝転がり、空を見つめる。少しづつ頭がさえてくる。頭の中に明日香の顔が浮かぶ。だが起き上がることがなかなかできない。

「ご飯だよーお兄ちゃん」

そこで僕ははつとした。この声は、妹の一過中学の1年。名前は高木 香奈だ。僕は重い体に力をいれ、起き上がった。

「いまいくー」

その声をかけ、僕は階段を下りていった。「まつててね」挨拶をして。

高木味時＝主人公。ある日ゲーム店にあった、ゲームの2次元の彼女に、恋をしてしまった。また地味過ぎる性格である。

高木香奈＝主人公の妹。明るい性格で、物事をきっぱり言つ。主人公が大好き。

泉明日香＝主人公の2次元彼女。ゲーム店で買われた。また、2次元なので実際の感情はない。

第1話 終わり

PDF小説ネット発足にあたって

PDF小説ネット（現、タテ書き小説ネット）は2007年、ルビ対応の縦書き小説をインターネット上で配布するという目的の基、小説家になろうの子サイトとして誕生しました。ケータイ小説が流行し、最近では横書きの書籍も誕生しており、既存書籍の電子出版など一部を除きインターネット関連＝横書きという考えが定着しようとっています。そんな中、誰もが簡単にPDF形式の小説を作成、公開できるようにしたのがこのPDF小説ネットです。インターネット発の縦書き小説を思う存分、堪能してください。

この小説の詳細については以下のURLをご覧ください。
<http://ncode.syosetu.com/n0388z/>

2次元に恋をした

2011年12月1日17時00分発行